

『新たな価値』の

萌芽は地域にある

— 地方からのオルタナティブ —

貧困、格差拡大や気候変動問題など

多くの課題を抱える現代社会において、

競争・拡大・成長といった既存の価値が

揺らいでいることは、だれの目にも明らかでしょう。

一方で、既存の価値に代わりうる「新たな価値」とは何か、

それに基づいた社会のあり方はどのように構築できるのか、

その答えはそう簡単にたどり着けるものではありません。

このシンポジウムでは、「新たな価値」の手がかりを求めて、

地域にあるその萌芽的な試みをもとに議論します。

既存の社会システムから取り残された「周辺」地域だからこそ、

新しい可能性に開かれているのではないのでしょうか。

地域から芽吹きつつある未来社会の選択肢について、

一緒に考えてみませんか。

山陰研究
ブックレット⑫
「都会に出ること、
地元で暮らすこと」
出版記念



Program (13:30-15:40)

第一部 新たな価値の萌芽は地域に

イントロダクション

片岡 佳美 (島根大学法文学部 教授)

報告①

なぜ若者が「大人の島留学」に惹かれるのか

— “還流”を起こすことで見える島の風景 —

濱中 香理 (海士町郷づくり特命担当課長)

報告②

自然が好きなぼくの有機農業との運命の出会い

木津 たお (島根大学生物資源科学部 3年生)

報告③

山間地域の高校生の語りにみる「新たな価値」

— その可能性と不可能性 —

片岡 佳美 (島根大学法文学部 教授)

休憩 10分

第二部 全体討論

— 「新たな価値」はオルタナティブたりうるか —



お問い合わせ先

島根大学 法文学部 山陰研究センター

Tel 0852-32-9833

admin-src@soc.shimane-u.ac.jp

主催：島根大学法文学部山陰研究センター

2024年

1月28日 日

入場無料 13:30 開始 (開場 13:00)

島根大学 法文学部 207多目的室①

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

